

議会報告会報告書

平成24年8月4日

山陽小野田市議会

議長 尾山信義 様

A 班

代表 伊藤 實

平成24年6月定例会議会報告会の実施状況について下記のとおり報告いたします。

記

1 開催日時

平成24年7月20日（金） 19:00～20:40

2 開催場所

須恵公民館

3 参加人数（市民）

18 人

4 担当班議員名

（ 伊藤 實 ）（ 岩本信子 ）（ 大空軍治 ）
（ 下瀬俊夫 ）（ 伊藤 武 ）（ 平原廉清 ）
（ 松尾数則 ）

5 報告会次第

- （1） 市議会議長挨拶
- （2） 6月議会の報告
 - ① 総務文教常任委員会
 - ② 民生福祉常任委員会
 - ③ 産業建設常任委員会
 - ④ 議会運営委員会
- （3） 質疑応答

6 主な質問・意見・提言

① 議運の2回目の会議でどんな話があったのか。

[回 答] 今行われている適正な議員定数を考える議員協議会との兼ね合いが議論の中心になった。将来的に定数協議会を特別委員会にした上で議論をした方が良いのではないか、ということであった。

② 今の説明者は当日欠席していた。委員長が説明すべきではないか。当日欠席議員が2名いた。議決も出来ない状態であれば、日にちを変えるとかすべきではないか。

[回 答] 委員長として真摯な意見として受ける。報告会をやるのに1回も委員会を開かないのは、若干疑念があったので、開いたが、多くの傍聴があったのに中身のある議論が出来なかったことについては遺憾に思う。今後慎重に進める。

③ 今日の中には定数が15だとか18と言う人は来ていないけど、そう言っている人もいる。2つ聞く。1つは、協議会と議運の在り方、議運が本来の在り方でないのはいかがか。早く特別委員会にしてはどうか。2つ目は内部討議をしたら、市民の前で公開討論会をやらないか。

[回 答] 議員協議会については議員からの要望で、議長が諮問機関として設置したもの。特別委員会と同じ敬意を払う諮問機関だと考えていた。公開は全体の意見がまとまれば出来ない訳ではない。それはいま協議会の中でも検討している。そして議運の中で、特別委員会にしていかななくてはという話も出ているので、次回は検討されていくと思う。

④ 厚狭消防署の建設請負の件で位置、面積について、図面で示した方が分かりやすい。要望は、どこまで検討して要求したのか、議会の動きを教えて欲しい。

[回 答] 図面云々は、消防署決定は前の議会で決まっている。今回の議案は、請負契約の部分になるので、契約金額云々となった。17項目の要望のうちの2つが出来なかった。その1つとしてヘリポート。これは総務文教委員会で光市へ視察に行った。そこで、ヘリポートが設置されていた。それと消防車や救急車が前から後ろからも出入り出来る作りであった。敷地面積のこともあるが、それも出来ないかということで要望したが、敷地面積と後ろ側の道路幅等を検討した結果、難しいということに。ヘリポートの件は近所に厚狭球場がありできない、ということ。

⑤ ヘリポートを要求するときに事前に調べ、検討はしないのか。それがわが市において可能な位置、面積なのかまで検討して行政側に要求すべきじゃないかと

思うが、どうか。

[回 答] そのような凶面の段階でも間に合わない。だから先進地視察に行き、色々な事案を踏まえて、こういうことは出来ないかという要望だ。議会側からすれば少しでもより良いものにしたいという思いの中で17項目を出して、そのうちの15項目については、消防署が受け入れたということだ。

⑥ 議員協議会の議事録は第3回目まで出ている。3回見ただけでも相変わらず同じことを言っている。議会基本条例のときにアンケートを取ったが、あのときどこまで分析したのか。

[回 答] 直接お答えできる議員がいないので、ご意見があったことを几帳面に整理させていただく。

⑦ 企業誘致フォーラムは、議会が初めて民間と一緒に実行委員会を作って、意見を求めてそれで呼び掛けるといふ、議会の本来の存在価値を高める手法である。議会が素晴らしく前向きだなというふうに変評価している。

[回 答] 私たちも頑張るので、皆さんのちからも借りたい。

⑧ 民福委で国保の料率が今年度は若干下がったが、その中の報告で総医療費は下がってきた(22年度に比べ)が、一人当たりの医療費は上がっている。にも拘わらず保険料率を下げたのだが、委員会は、どのようにその料率を決めてきたのかというのを行政側に確認したのか。

[回 答] 保険料率は、議会で決められる決定事項ではない。国保の保険料率の出し方が、医療費がベースになる。今までは全体の医療費が上がっていた。被保険者の人数が減ってきているから、一人当たりが高くなってくる。23年度の全体の医療費が下がってきたから下がったのである。いま9000万円の状態の基金はインフルエンザが起こった時には、1億、2億と要るらしい。これは1、2億まで積んでおかないと、何が起こってくるかわからないということで、本当に国保の運営がちゃんといくのかという時点でみるので率がどうこうとまでは審査していない。

⑨ 議員に理解してもらって採決なり、賛成なりしてもらいたいと思う。その辺のところを議員は勉強して欲しい。市民とすれば料率が下がるのはいいが、将来的にもそれでいいのかということを考えてほしい。どんな仕組みで決まっているのか、1から全部を民福の議員はやってほしい。

[回 答] 率を決めるのは一般会計からの繰り入れというのものもある。どのくらい一般会計から繰り入れ出来るのか、よその低いところはかなり一般会計から繰り入れしている。当市は低所得者が多い。保険料は医療費が上がって

いるからこれほど上げていいのか、一般会計から基準外繰り入れを出来るのか、そういうことを見ながら、計算の 20 パターンまでは追求していないが、きちんと見てやっているつもりだ。もう少し勉強していく。

⑩ 今度の議会報告では「市民の声」というのも入れるようにしたらどうか。

[回 答] 議会だよりの中に「市民の声」という欄を作れということか。要望として受ける。